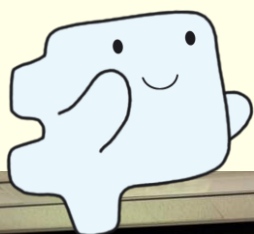


えんがわ だより



No.209 2024.12.

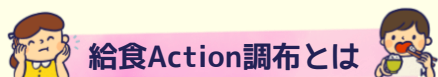


給食Action調布

～子どもたちにより良い給食を～



令和6年度えんがわファンド助成団体
映画上映会の様子



給食Action調布とは

給食Action調布は、子どもたちの健やかな成長を願い、地域、学校、行政、農家と連携し「より良い給食」を目指す保護者を中心とした市民団体です。勉強会など開催し、市民の食への関心や知識を高め、理解、実践する機会を設けています。

令和6年度えんがわファンド助成団体として、食に携わる人同士が繋がり、語り合う場として映画上映会を開催しました。えんがわファンド助成金は、映画の上映費用の一部、会場費、講師謝礼金、広報宣伝費として活用されています。

映画「いただきます みそをつくるこどもたち 2024Ver」上映会を開催 (2024年10月4日、10月5日)

映画「いただきます みそをつくるこどもたち」は、福岡県に実在する、オーガニック食材を使った給食を提供する高取保育園取材したドキュメンタリー映画です。食養生を重視し、子どもたちが、自ら食べる味噌を手作りします。どの子どもたちも、心も体も元気に、健康に生活する様子が紹介されています。この映画では「食べたものが、わたしになる」をテーマに、食育の大切さを優しく伝えています。

映画上映会は2日間開催し、映画鑑賞+お話会の充実したイベントとなりました。10月4日は発酵料理店と農家の対談『こな家×Farm Koyama』、10月5日はフルセン歯科医院長 古仙芳樹先生の講演会を開催しました。

2日間の上映会イベントでは、子育て中の保護者の方のみならず、幼稚園や保育園の先生、栄養士の方、調布市農政課の方、市議会議員など多くの方が来場してくださり、調布の食育への関心の高さが伝わってきました。



給食Action調布を立ち上げたきっかけ



子どもころ、当たり前になんとなく食べていた給食。大人になって、いざ自分の子どもが給食を食べることになった際、お米の産地は？ 調味料は何を？ それらはどのように選定され調理されている？ など、食の安全を含め、給食の内容が気になり始めました。

そして、個々で活動をしていたメンバーが学校の枠を超えて出会い、それぞれの学校の給食について意見交換会を行ったことが活動のはじまりでした。



同時期に、残留農薬や遺伝子組み換え、ゲノム編集食品などの情報を知り、不安を覚えたメンバー同士で問題点などを共有。その中で、未来の日本を担う子どもたちの安全・安心を第一に、少しでも良い食材で美味しい給食を食べてもらいたい！という想いをより強くしました。

また活動が続けていくためには、これまでに得た多くの知識や情報を次の世代のママたちに引き継いで行く必要性を感じていました。そこで、調布でもっと大きなうねりを作ろうと声を掛け合い、「給食Action調布」というチームを作ることになりました。



給食Action調布が目指す、調布の学校給食・この先の活動について



活動の様子

上映会に参加された方から、たくさんの素晴らしい感想をいただきました。「和食に、こんな力があるとは驚きました」、「発酵食の力に驚きました」、「お味噌汁を作って食べたくなりました」など、和食を見直す声が多く寄せられました。

調布市の給食は、以前に比べるとパンや麺の日が少なくなり、米飯給食の日が増えてきたように感じます。小麦製品の価格高騰による影響もあるとは思いますが、国が和食給食を推進しているという背景があります。

なぜなら学校給食には、食文化の継承に対する大きな影響力と可能性があるからです。私たちも「より良い給食」のひとつとして、米飯中心の和食給食が更に増えることを期待しています。

今後は、給食や食文化をテーマにした映画の上映会、また気軽に学び合える場として、味噌や出汁のワークショップ、野菜の収穫体験なども企画中です。給食というキーワードを通して、保護者のみならず、学校や行政、地域の農家など様々な方たちとの対話を重ねながら、子どもたちの食を地域で支えていきたいと思っています。

調布のボランティア・市民活動を応援する助成金 えんがわファンド

えんがわファンドは、地域や社会の課題を解決するために、調布で活動するボランティアグループ、市民活動団体を応援する助成金事業です。

市民活動支援センターは、給食Action調布のえんがわファンド申請前の相談から入り、申請の支援をさせていただきました。

給食Action調布はえんがわファンドをきっかけに、地域での活動をさらに大きく広げています。



【申請募集期間】

令和7年春頃を予定しています。



市民活動支援センターからの発信



下布田遺跡のヤギさんエコ除草

縄文時代晩期の遺跡が発掘され遺跡公園として整備される間、伸びてしまった雑草をムシムシ食んで
いる白ヤギさんが2頭。こんな住宅地に大きな動物が放牧されているのが珍しいと、通りかかるお散歩幼稚
園児、通学路の小学生、幼少のころヤギのお乳で育ったというおばあちゃんまで大人気に。毎日癒されてい
ます。

ガソリンを使う除草機ではなくムシムシ食べれば餌代いらず
のエコ除草。3年目の今年は、牧場から借りてきて7月末まで3ヶ
月間働いてもらいました。水やりや小屋の掃除など、地域の方々と
のボランティア団体『いきもの係』は郷土博物館とともに来年度も
活躍します。また春過ぎにお会いしましょう。

市民活動支援センター 朝日



地域みんなで備えよう



行政や地域の20団体以上が参加する富士見町の合同防犯パト
ロールで初めての試みとして、富士見コーナーの呼びかけで児童
養護施設調布学園・第二調布学園の職員と調布市社会福祉協議会
の職員が連携し、地域交流センターまんまるで100食分のアルファ
米の炊き出し、パック詰め、配布を行いました。

消防大学校から寄付されたアルファ米を有効活用し、賞味期限
の迫った防災備蓄品の入れ替えによる食品ロス削減に貢献しまし
た。調理に必要な13.5ℓのお湯を沸かすのに大きなヤカンが大活
躍。食事提供をする児童養護施設ならではの備品です。

普段から地域の団体が顔見知りになり、互いの得意分野や専門
性を知り、災害時などに役割分担できればと思います。

富士見コーナー 岡澤

市民活動支援センター運営委員会について

市民活動支援センターの円滑な運営と、利用者の視点に立った効果的な事業推進を図るため、市民活動支援セン
ター運営委員会を開催しています。希望する方は委員会の傍聴ができます。

調布市市民活動支援センター令和6年度第7回運営委員会開催報告

以下の議題について、報告、審議、協議を行いました。

- ・えんがわフェスタについての協議



市民活動支援センター
運営委員会議事録は、
HPで公開されています。

市民活動支援センターHP



令和6年度

市民活動支援センター運営委員会日程

- 第8回 : 12月21日(土) 10:00-12:00
- 第9回 : 1月17日(金) 18:30-20:30
- 第10回 : 2月15日(土) 14:00-16:00

【お問合せ先】市民活動支援センター

☎ 042-443-1220

✉ npo-center@ccsw.or.jp



えんがわだよりに掲載する、ボランティア・市民活動団体の情報を募集しています

市民活動支援センターでは、ボランティア・市民活動の支援および相談を受け付けています。
「私たちの団体、活動の情報を発信したい！」方、市民活動支援センターまでご相談ください。
※営利目的、または特定の政治、宗教上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを
主たる目的とするもの場合は、掲載をお断りする場合があります。



ボランティアの
募集に
関すること

市民活動団体の
紹介に
関すること

市民活動団体の
行事の告知に
関すること

市民活動団体の
メンバー募集に
関すること

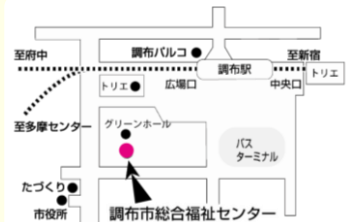
市民活動支援センターと、7カ所のボランティアコーナー

●市民活動支援センター



国領町2-5-15コクティ2F
TEL 042-443-1220
FAX 042-443-1221
Mail npo-center@ccsw.or.jp
【開】8:30～22:00
【休】第3月曜日
(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



小島町2-47-1
総合福祉センター2F
TEL 042-481-7695
FAX 042-481-6611
Mail kojimacho@ccsw.or.jp
【開】月～金 9:00～17:00
【担】佐藤・浅見

●染地コーナー



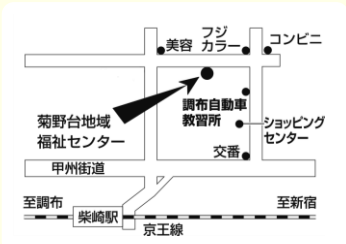
染地3-3-1
染地地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-3790
Mail somechi@ccsw.or.jp
【開】火～土 9:00～17:00
【担】渡邊

●西部コーナー



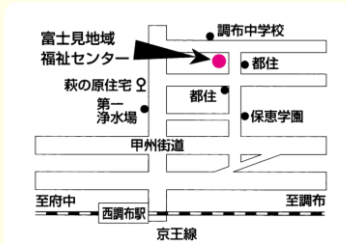
上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
TEL/FAX 042-426-4335
Mail seibu@ccsw.or.jp
【開】火～土 9:00～17:00
【担】涌井

●菊野台コーナー



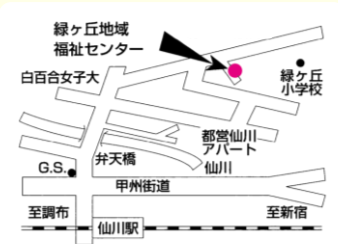
菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-6500
Mail kikunodai@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】青木

●富士見コーナー



富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-8719
Mail fujimi@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】岡澤

●緑ヶ丘コーナー



緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
TEL/FAX 03-3326-4088
Mail midori@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】伊藤

●野ヶ谷の郷



深大寺東町6-27-3
TEL/FAX 042-481-1838
【開】火・木・土 10:00～16:00
地域のボランティアスタッフが
運営しているコーナーです！
ボランティアスタッフを募集し
ています。

えんがわファンド
サポーター募集中！

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成します

1口3,000円(年間)

サポーター期間：2024年4月1日～2025年3月31日

会費は、地域や社会の課題を解決するために調布で活動するボラン
ティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の
原資になります。

